

公開講座

教材開発

受託研修

コンサル
テーション

出版

研究会

共に生きる社会の
創造をめざして

2017-2018 プログラムガイド PROGRAM GUIDE

私たちのミッション

ラボラトリー方式の体験学習を通して

- ◎ かかわり合いの中でお互いが成長できる社会
 - ◎ 違いを認め、違いを活かし合う社会
 - ◎ 自分たちの力で変えていけると実感できる社会
- を創造します

ごあいさつ

2015年4月1日に、一般社団法人日本体験学習研究所(JIEL)を設立し、「共に生きる社会の創造をめざして」、ラボラトリー方式の体験学習を中心とした活動を始めました。学校教育現場に学習者中心の教育実践を、企業組織に一人ひとりが大切にされる活性化した組織活動を、看護医療の現場に看護師の自立と最高のケアサポートをめざした医療活動を実現するために、人間尊重を基盤とする人間関係トレーニングの視点からプログラムの開発と実践を行ってきています。

特に、ラボラトリー方式の体験学習として生まれたTグループ(Tとはトレーニングの頭文字)をコア・プログラムとして位置づけ、設立以降その発展的講座を多数開催してきています。2017年度も社会で活躍されているみなさまの人間関係力・コミュニケーション力、リーダーシップ力、ファシリテーション力、マネジメント力、内省力などへの向上をめざして、多数の講座を開催いたします。

Tグループは、米国NTL(National Training Laboratory Institute)においてすべてのセミナーの参加要件になっており、JIELが提供するセミナーへの参加にも大切な体験と学びの基礎となります。その哲学と学習方法を踏襲し、JIELのTグループは伝統的な5泊6日の期間の実施にこだわっています。私たちが主催しますTグループでは、ていねいな対話により、お互いに認め合い学び合う関係づくりをおして、共に生きることを探求することをめざしています。Tグループ体験を通して、プロセスに気づく力や働きかける力を養い、自己成長、グループ成長に取り組み、学ぶ場になることを参加者とともに創り出したいと考えています。

Tグループの体験とその学びは、コンサルタント、ファシリテーター、リーダー、マネージャー、教育者、人事担当者、企業管理者などに必要となる対人感受性、かかわりの柔軟性などのヒューマンスキルやマネジメント力を育てるために役に立ちます。その他、さまざまなスキルアップ・プログラムも準備しています。多くの方にご参加いただければ、幸いです。

また、皆様からのご要望があれば、医療現場、企業・組織内教育、学校教育現場からのコンサルティング、ならびに受託研修なども幅広くお受けしています。

2017年4月1日
一般社団法人 日本体験学習研究所
代表理事・所長 津村 俊充

JIELとは、一般社団法人 日本体験学習研究所(Japan Institute For Experiential Learning)の頭文字をとったもので、「ジャイエール」と呼ばれています。

目次

ごあいさつ・目次	2
公開講座の概要	3
コア・プログラム講座	4
第5～7回Tグループ(人間関係トレーニング)	
ファシリテーター養成講座(Tグループなど非構成的グループ・ファシリテーション)	8
第3回Tグループファシリテーター・トレーニング	
ファシリテーター養成講座(実習を用いたグループ・ファシリテーション)	10
第3回プログラムデザイナー・トレーニング	
ラボラトリー体験学習基礎講座	12
第4～8回プロセスから学ぶグループとわたし	
JIEL ワークショップ	14
第3回グループプロセスコンサルタント・トレーニング ＜新企画＞未来を創る次世代の人たちを育てるーESD実践者の養成	
実践人間関係づくりファシリテーション12講	16～20
書斎で学ぶ「つんつんのミニレクチャー32講」	21
JIEL 春まつり：学びの祈願祭	22
JIEL 秋まつり：学びの収穫祭	22
ラーニングカフェ FOR CHANGE	23
体験学習実践研究会	23
受託研修(コンサルティング)	24
受講申込	25
年間スケジュール	26～27

公開講座の概要

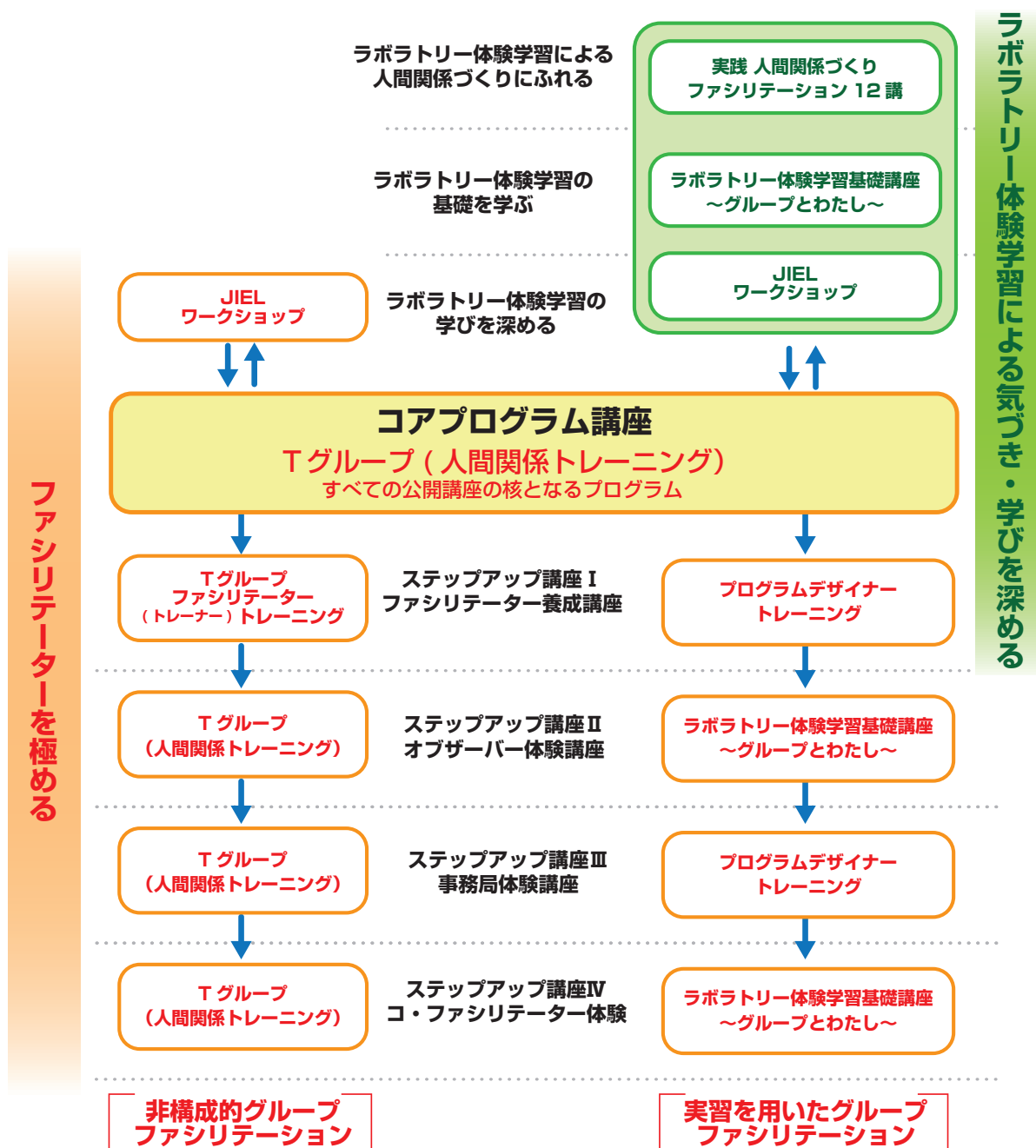
一般社団法人 日本体験学習研究所は、グループダイナミックスの創始者と言われる K. レヴィンと研究仲間たちによって、1946 年に創始・開発されたラボラトリー方式の体験学習を核として、人間関係のありようを探求するためのトレーニングのプログラムの開発と実践を行っています。それらを通して、対人関係、グループ、組織において相互に学び合い、成長し合える社会づくりを目指しています。

ラボラトリー方式による体験学習の場は、自己理解、他者理解、リーダーシップ能力、ファシリテーション力など人間関係づくりに大切な学びの宝庫です。ぜひ JIEL のさまざまなラボラトリー体験学習による学びを深めてください。

また、あなたも、JIEL 研究員とともに、ラボラトリー方式の体験学習のファシリテーターとして活動してみませんか？
活動の場は、日常の人間関係を豊かにする普段着ファシリテーターから、学校教育、医療現場、企業組織でのプロセスを大切にしたファシリテーターまで幅広くあります。

※『ラボラトリー体験学習による気づき・学びを深める』コースでは、どの講座からでも受講ができます。

※『ファシリテーターを極める』コースの受講を考えられる方は、コアプログラム講座「Tグループ（人間関係トレーニング）」の受講がスタートになります。



コア・プログラム講座

Tグループ（人間関係トレーニング）

わたしたちはグループや組織の中で生きています。それは家族であったり、会社や学校といった職場であったり、プライベートな仲間同士、地域の人たちとのつながりであったりします。“わたし”とは違うさまざまな人たちが集まって、その組織が成り立っています。違いがあるのはわかっている、その違いが生み出すことで悩んだり、苦しんだり、人を責めたりします。その違いを認め、活かし合い、互いの尊厳を大切に、信頼関係を築きあげることができたら、わたしたち一人ひとり、そしてわたしたちが生きるこの社会はより幸せなものになるのではないのでしょうか。

Tグループ（Tとはトレーニングの略）とは、1947年から始まった、人間理解やリーダーシップなど相互にどのように影響し合っているかなどを探求し、参加者一人ひとりのありようやグループダイナミクスを理解し、リーダーシップを発揮することなどを学ぶプログラムです。ラボラトリー・トレーニングとか、ラボラトリー方式の体験学習と呼ばれるのは、1947年にスタートしたTグループが、「Human Interaction Laboratory In Group Dynamics」と呼ばれたことによりです。

Tグループは、私どものJIEL公開講座のすべてのプログラムのコア・プログラムです。どのプログラムよりも先にご参加されることをおすすめします。米国NTL Instituteでも、Tグループはコア・プログラムとして、自己理解のプログラムや組織開発のプログラム、また他者理解・異文化理解のワークショップといった他の講座に先がけて参加するための参加要件となっています。

Tグループは、狭義にはTグループ・セッションをさします。広義には、参加者全員とスタッフを含めたラーニング・コミュニティで学ぶ宿泊研修すべてのプログラムをTグループと呼んでいます。広義の合宿形式のTグループ・プログラムは、伝統的に以下の4つのプログラム要素を用いてデザインされます。

- ① Tグループ・セッション（対話による非構成のグループ体験）
- ② 実習教材を用いた構成的グループ体験
- ③ モデルや理論の紹介による概念化を促進するミニレクチャー
- ④ チェックリストやふりかえり用紙を用いたツールの使用

Tグループ・セッションでは、特に決められた課題や手続きはなく、参加者は自由に対話を続け、その場に生まれてくる人間関係（プロセス）を学習の素材として探求します。その過程で、自己理解、他者理解、受容、共感、影響関係、コミュニケーションやグループダイナミクスなど、人間関係のさまざまなことに気づいていくことができます。

JIEL主催のTグループは、歴史ある哲学と学習方法を踏襲し、伝統的な5泊6日の期間の実施にこだわり、「一人ひとりを尊重し、人々とのつながりが生まれ、共に生きること」を探求するラボラトリー・トレーニングの実現をめざしています。

※このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、お申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。



「エンジニアである私のTグループ体験～気づきにより行動が変わる～」

私はエンジニアとしてメーカーに勤務するサラリーマンです。Tグループに参加する前は、気持ちを表に出さないことがエンジニアとして必要なことであり、それが論理的であると信じていました。仕事の中にかかわる人との関係がうまくいかなくても、それは相手が感情的にふるまうからだとか他罰的に考えていました。

しかし、Tグループに参加してそのことが思い込みであることに気がつきました。自分自身にも気持ちがあり、相手にも気持ちがある。お互いの気持ちに気づくことでより良い関係を築くことができる。一見当たり前のことですが、真にそのことを体験から学ぶことで、Tグループ参加後に自らの行動が変化していきました。私の目指す理想の姿～一緒にモノづくりする人たちが誇りを持って楽しく生き生きと働くことをエンジニアとして支援する～が明確になり、その実現に向けて行動できるようになりました。

Tグループに参加して7年、かかわる人たちとの関係性に働きかけながらエンジニアとしてモノづくりを支援することの楽しさを感じています。まずは自分の気持ちに気づくこと。そのためのトレーニングとしてTグループは最適であると思います。

会社員 エンジニア 秋山 善克



Tグループは、私たちが豊かな社会生活を送るために必要な、感受性や人間関係づくりの資質を磨くことができる最良の場の1つです。キャリアコンサルタントは、個人のキャリア発達を支援する専門家であり、言い換えれば、1人ひとりのクライアントが、より充実した人生を送るための手伝いをする存在ですが、だからこそ、まずは自分自身が「人に関わる力」をしっかりと養う必要があります。多くのキャリアコンサルタント、キャリア開発支援者が参加されることを願っています。

キャリアコンサルティング技能士会 代表幹事 文川 実



"なんで、特に目的や目標が設定されているわけではないのに、凝ったワークをするわけではないのに、ファシリテーターが上手にリードするわけではないのに、こんなに個人の深い声が出たり、グループダイナミクスが起こるんだろう!?!?"

Tグループのファシリテーター（トレーナー）は特に何もしていない（ように見える）のに、場では様々な事が起きています。これまでの一生懸命場をつくったり、発言を促したり、学びを促進させる苦勞をしてきた私は何だったんだろう…。コーチングやファシリテーション等様々な事を学んできた私でも、いわゆる非構成のTグループ体験は衝撃でした。

体験した直後から、場の見え方や感じ方が格段に変わりました。ファシリテーターや研修講師、システムコーチやチームコーチやプロセスワーカーなど、一度に複数の人に関わったり、場を創ったり、チームを支援する方等、全員一度は純粋な参加者としてTグループを経験することを強く強くお勧めします。

組織開発ファシリテーター／システムコーチ 石井 宏明



1990年代後半から長期にわたって継続された、環境庁自然保護局自然ふれあい推進室（当時）の自然解説担当者養成研修、文部省生涯学習局（当時）自然体験指導者養成研修のプログラムに体験学習法が紹介、導入されてから、環境教育、野外教育の分野からのTグループ受講者が続きました。アクティビティを用いたプログラムづくりに体験学習法が効果的であることと、教育担当者にとって、体験学習法を効果的に用いるためには、Tグループの受講が望ましいことと受けとめられ、伝わっていったからと思われます。

過去、この分野から、Tグループに参加して、グループプロセスの何たるかを理解し、プロセスへの介入の仕方に関心をもった方々が、ファシリテーター養成研修に参加され、現時点でも、各現場で活躍中です。

聖マーガレット生涯教育研究所所長 西田 真哉



第5回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日 程	2017年6月3日（土）14:00 受付、14:30 開会 5泊6日 8日（木）13:00 解散（清里駅行きバス 13:30 出発）
	Tグループ・フォローアップ 2017年9月10日（日）10:00～16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村俊充、鈴木由子、石井宏明、高橋紀子
定 員	18名
会 場	（財）KEEP 協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：84,000 円（税込）
滞在費	68,000 円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 85,000 円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

第6回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日 程	2017年8月17日（木）14:00 受付、14:30 開会 5泊6日 22日（火）13:00 解散（おんたけ休暇村バス 13:30 出発）
	Tグループ・フォローアップ 2017年11月19日（日）10:00～16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村俊充、小野田博之 他
定 員	18名
会 場	（公財）おんたけ休暇村 〒397-0201 長野県木曽郡大滝村 3159-25 TEL 0264-48-2111
参加費	受講料：84,000 円（税込）
滞在費	46,000 円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） ※本施設は、居室は和室で、ツイン使用をお願いします。公共の施設であり、繁忙期であることより、ご協力よろしくお願いします。 ただし特別の理由がある場合には、シングル利用を検討させていただきます。

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

第7回 Tグループ（人間関係トレーニング）

日 程	2018年2月10日（土）14:00 受付、14:30 開会 5泊6日 15日（木）13:00 解散（清里駅行きバス 13:30 出発）
	Tグループ・フォローアップ 2018年5月13日（日）10:00～16:00 ヒューマンコラボレーションセンター HCC
担当者	津村俊充、間宮基文 他
定 員	18名
会 場	（財）KEEP 協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：84,000 円（税込）
滞在費	68,000 円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 85,000 円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。
※滞在費は現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

コア・プログラム講座
（非構成的グループ・ファシリテーション）
ファシリテーター養成講座ファシリテーター養成講座
（実習を用いたグループ・ファシリテーション）ラボラトリー体験学習
基礎講座

J-IELTワークショップ

実践人間関係づくり
ファシリテーション12講

春まつり・秋まつり

ラーニングカフェ
体験学習実践研究会

交流から学ぶラボラトリー体験学習

受託研修

受講申込

年間スケジュール

ファシリテーター養成講座（Tグループなど非構成的グループファシリテーション）

第3回 Tグループファシリテーター・トレーニング

Tグループ（5泊6日）の参加経験のある方を対象とした、Tグループファシリテーター（トレーナーと呼びます）を体験しながら、Tグループのファシリテーションのありようを学ぶトレーニングです。

このトレーニングの中心的なプログラムでは、参加者がTグループファシリテーター（トレーナー）役、オブザーバー役、メンバー役を交代しながら、Tグループ体験を積み重ねていきます。1セッション終了ごとに、ふりかえりセッションを行います。ふりかえりセッションでは、グループのプロセスを分かち合い、トレーナーの言動を中心にトレーナー自身の内省やオブザーバーの観察のデータも活用し、またトレーナーの言動からのメンバーが受けた影響などを共有しながら、グループ体験から学ぶファシリテーションや、自分自身のグループへの働きかけの特徴などについてお互いに学びを深めていきます。

役割をもったグループ・セッションとふりかえりセッションを通して、トレーナーはもちろんのことグループの一人のメンバーとして、グループをどのように観たか、トレーナーが何を大切に働きかけたか、またその選択肢には、他にどのようなものがあるのか、メンバー一人ひとりの成長やグループの成長に気づき、働きかける視点と技能、そしてトレーナーとして大切にしたいことを学んでいきます。

グループ・セッションとともにファシリテーションにかかわる概念的な理解を深めるための全体会プログラムも予定されています。

＝このようなことを目指している方にお薦めします＝

- ・個人やグループの成長に関心があり、なんらかの貢献をしたいと思っている人
- ・会社や学級・学校などの組織の文化や風土を変えたいと考えている人
- ・人とかかわる上で観察すること、働きかけることを学びたい人
- ・チェンジ・エージェントに関心がある人 など

※このトレーニングでは、グループでの話し合いの録音やふりかえり用紙を、グループ内での共有の学習の素材とするための同意書の提出が求められます。また、心的葛藤やストレスを経験することもありますので、現在身体的あるいは精神的な治療のための通院やカウンセリングを受けておられる方は、担当の医師やカウンセラーとご相談の上、お申し込みください。ご不明な点は当研究所にご相談ください。

第3回 Tグループファシリテーター・トレーニング

日 程	2017年12月2日（土）14:00 受付、14:30 開会 4泊5日 6日（水）16:00 解散
担当者	津村俊充、他
定 員	16名
会 場	（財）KEEP 協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：78,000 円（税込）
滞在費	58,000 円（税込）（予定）（ツイン利用：宿泊・食事・会場費含む） 75,000 円（税込）（予定）（シングル利用：宿泊・食事・会場費含む）

※本講座は、5泊6日のTグループ（人間関係トレーニング）に参加されていることを参加の基礎資格とさせていただきます。

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

2016年度 JIEL第2回Tグループファシリテータートレーニング

<日程例>

2016年9月17日～21日開催

	9月17日(土)	9月18日(日)	9月19日(月)	9月20日(火)	9月21日(水)
		7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食	7:30 朝食
		8:30 モーニングセッション①	8:30 モーニングセッション②	8:30 モーニングセッション③	9:00 モーニングセッション④
		9:00 TTS2	9:00 全体会(2) 「トレーナーの人間観」	9:00 TTS7	9:30 全体会(4-1) 「気づき・学びを用いたモデルづくり」
		9:50 ふりかえり用紙記入		9:50 ふりかえり用紙記入	
		10:20 フィードバック・タイム		10:20 フィードバック・タイム	
		11:20	「役割決め」	11:20	
12:30	受付	12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食	12:00 昼食
13:00	開会	13:00	13:00	13:00	13:00 全体会(4-2)
	全体会(1) 「ねらいづくり」	13:30 TTS3	13:30 TTS5	13:30 TTS8	14:00 全体会(5) 「現場に向けて」
		14:20 ふりかえり用紙記入	14:20 ふりかえり用紙記入	14:20 ふりかえり用紙記入	
		14:50 フィードバック・タイム	14:50 フィードバック・タイム	14:50 フィードバック・タイム	
		15:50	15:50	15:50	16:00 閉会
	「TTSの進め方」				
	「役割決め」				
18:00	夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	18:00 夕食	
19:00	TTS1	19:00 TTS4	19:00 TTS6	19:00 全体会(3) 「全体のふりかえり」	
19:50	ふりかえり用紙記入	19:50 ふりかえり用紙記入	19:50 ふりかえり用紙記入		
20:20	フィードバック・タイム	20:20 フィードバック・タイム	20:20 フィードバック・タイム		
21:20	ナイトショートセッション①	21:20 ナイトショートセッション②	21:20 ナイトショートセッション③	21:20 ナイトショートセッション④	
21:45	ジャーナル記入	21:45 ジャーナル記入	21:45 ジャーナル記入	21:45 ジャーナル記入	

グループセッション
全体セッション

※ TTS とは、「トレーナー・トレーニング・セッション」の略称です。TTS ではT グループを行い、メンバー、トレーナー、オブザーバーを相互に体験し、ふりかえり用紙の記入とフィードバックを行います。

参加者の声 (アンケートより)

- ・ グループの成長にメンバーとして取り組み、個人としての課題達成が行え、トレーナーとしての関わり・働きかけと視点の持ち方を自分が学び、他者のかかわり方からも学べた。
- ・ トレーナーの視点とTグループの学び、複雑でしたが、だからこそ見えてくるものも大きかったです。
- ・ トレーナーとしての立ち位置、視点、大切にすることが自分なりにとらえられた。
- ・ 体験するだけでなく、学びをしっかり言語化できた。
- ・ つんつんの朝と夜のセッションは、情報量が多く、すぐに消化できないものの、お得感が満載でした。
- ・ いろいろな介入の手札を手に入れ、それを素直にTRYしようと思える素直な自分に出会えた。

ファシリテーター養成講座（実習を用いたグループ・ファシリテーション）

第3回 プログラムデザイナー・トレーニング

本講座は、Tグループなどグループワークによる「ラボラトリー方式の体験学習」を通して学ばれた方が、さらに「ラボラトリー方式の体験学習」についての理解を深めるための講座です。特に実習体験（構成的グループ体験と呼ばれます）のプログラムの設計（デザイン）や実際に体験学習を実施する際の考え方やスキルを学ぶことを目的としています。

近年、企業内教育だけでなく、小・中学校、高等学校をはじめ、大学においてもグループワークを用いたアクティブラーニングがひろく活用されています。また、キャリアコンサルタントの方には、グループワークを用いた自己理解や他者理解、コミュニケーション能力の開発支援が求められています。看護医療の教育、特に看護学校では人間関係論、対人行動論、コミュニケーションやカウンセリングなどの科目において座学だけでなく体験を通して学ぶ授業実施、医療現場ではチームづくりやリーダーシップ、ファシリテーションの力の養成が求められています。

本講座では、教育プログラム（研修や授業）の実施に際して、一連のプログラム設計（デザイン）の基本的な考え方や仕方、またデザインされた実習プログラムの実施について、体験を通して学ぶことを目的としています。

講座の前半の2日ほどは、プログラムの作り方に関する小講義を交えながら、グループごとに一連の流れのプログラムを設計して、それらをプレゼンテーションし、参加者相互に意見交換をしながら、プログラム設計の留意点などを学びます。また、後半の3日間ほどは、その一連のプログラムの中から具体的にねらいに即した実習デザインを考え、参加者相互に実習を実施し、フィードバックセッションを通して学びます。

これらの体験を通して、学習者中心の教育観や学習観について理解を深め、ファシリテーターとしてのかかわり方やスキルを磨くことに取り組みます。この講座自体が体験学習の場になりますから、ファシリテーターとしてのトレーニングだけでなく、自分自身の人間的成長の機会にもなります。

講座のねらいとしては、次のようなものがあげられます。

人間関係の体験学習や学習者参加型の教育に対する理解を深める
体験学習のプログラムを作り、実施するスキルを養う
体験学習を進めるファシリテーターのあり方を学ぶ
現場での体験学習の活かし方を考える



第3回 プログラムデザイナー・トレーニング

日程	2017年9月16日（土）10:00 受付、10:30 開会 4泊5日 20日（水）16:00 閉会
担当者	津村 俊充、林 芳孝
定員	15名
会場	南山学園研修センター 名古屋市昭和区広路町隼人30（地下鉄いりなか駅から徒歩6分）TEL 052-837-6466
参加費	受講料：78,000円 滞在費：43,000円（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※本講座は、Tグループ（人間関係トレーニング）、JIEL主催ラボラトリー体験学習基礎講座「プロセスから学ぶグループとわたし」、「実践人間関係づくりファシリテーション」、日精研主催「グループの基礎講座」、「グループワークから学ぶファシリテーター体験」、その他南山大学人間関係研究センター主催各種公開講座などに参加されていることを参加の基礎資格とさせていただきます。

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通じた学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

※滞在費は、現在、施設と交渉中です。多少の変更があるかもしれません。

2015年度 JIEL第1回 プログラムデザイナー・トレーニング

<日程例>

2015年8月21日～25日開催

8月21日(金)	8月22日(土)	8月23日(日)	8月24日(月)	8月25日(火)
7:30	朝食	7:30	朝食	8:00
9:00	チェックイン	9:00	(準備時間)	9:00
9:25	◎「プログラムづくり」①	9:25 「学びのわかちあい」 小講義「実習づくりについて」	9:30 ◎「実習実施と フィードバック」①	◎「ふりかえりセッション」 ・教育スタッフチームの ふりかえり
	適宜休憩	10:00 ☆「実習づくり」①	11:15 休憩	10:30 適宜休憩
11:40	アシスト・グループ・タイム②	12:30	11:30 ・フィードバック(60分)	・この研修で得たもの 学びの整理
12:00	昼食	昼食	12:30	12:30
13:00	◎「プログラムづくり」②	13:30 アシスト・グループ・タイム④	13:30 アシスト・グループ・タイム⑥	13:30
3:30	受付	13:45 ☆「実習づくり」②	13:45 ◎「実習実施と フィードバック」②	グループ発表
4:00	開会	15:10 「実習づくりミーティング 中間ふりかえり」 進捗状況の確認など	14:30 ・実習実施(90分)	◎「現場に向けて」
4:30	ねらいづくり 「私の窓」	16:00 適宜休憩	16:30 ・フィードバック(60分)	16:00
6:20	休憩	◎「プログラムづくり」③	休憩	閉会 まとめ・アンケート記入
	◎「教育プログラムの 発表とフィードバック」 ・発表①(10分+FB20分) ・発表②(10分+FB20分) ・発表③(10分+FB20分)	☆「実習づくり」③	16:45 ◎「実習実施と フィードバック」③	
8:30	夕食	18:30	18:30	
9:30	「教育プログラムづくり」 教育プログラム グループづくり	19:30 アシスト・グループ・タイム⑤	19:30 ・フィードバック(60分)	
1:30	アシスト・グループ・タイム①	19:50 ☆「実習づくり」④	20:30 アシスト・グループ・タイム⑦	
2:00		21:00	20:45 コミュニティアワー	

グループセッション
全体セッション

参加者の声 (アンケートより)

- ・ プロセスとコンテンツの同時体験。プログラム作成しながらプロセスを感じられた。プロセスへの理解が少し深まった。
- ・ プログラムって作れるんだと、思えるようになった(そんなの無理だと思った、何か固いものが少し溶けた感じです)。
- ・ 5日間の中で、いろんな自分の側面に気づくことができた(by 他人の力、自分の力)。
- ・ 目標(既存研修の見直し)の目的を立てる(端緒をひらく)ことができた。
- ・ これからの人生に生かしていく
- ・ いろいろ学べました。コンテンツとプロセスについて考えた。

ラボラトリー体験学習基礎講座

プロセスから学ぶグループとわたし

～学校や企業などの教育・研修担当者のためのグループワーク基礎体験～

この講座は、「ラボラトリー方式の体験学習」を用いて、グループの中での人間関係を学ぶ基礎講座として位置づけています。さまざまなグループワークの実習体験を体験することと、体験学習実施時のファシリテーションのヒントを提供します。

私たちの日常生活の8割以上がグループで過ごしているとも言われます。その中で、私たちはいろいろな体験をしながら生活をしています。その日々の生活体験は、時としてつらく悲しい体験もあれば、楽しくうれしい体験もあります。さまざまな体験から、自分自身を成長させたり、またその環境を変化させたりすることができれば、日常の体験は違った意味をもつことでしょう。

この講座では、日常の体験から学ぶための視点として、「コンテンツとプロセス」、「体験から学ぶ体験学習の循環過程」などについて体験を通して学びます。日常のグループ活動の中では、仕事や課題に取り組むこと、話題や課題の内容（コンテンツ）に夢中になり、その活動の中で起こっているメンバーの気持ちやお互いの関係（プロセス）に目が向けられずに過ごしてしまっています。

この講座では、個人の中で起こるプロセスやグループの中で起こるプロセスを観る視点を学びます。そのプロセスから学ぶための学びのステップも紹介しながら、グループの中でのわたしやグループに気づいていくプログラムです。それらの体験を通して、グループやわたしをどうマネジメントするかを学ぶ機会になります。

特にグループワークによる体験学習やアクティブラーニングなどのグループダイナミックスを生かす学びの場を提供しようとしている教育関係者（学校教育関係者、キャリアコンサルタント、カウンセラー、ODコンサルタントなど）におすすめの講座です。

※ 2017年度から、札幌、東京、名古屋、大阪、福岡で開催する予定です。参加しやすい会場で学ぶことができます。

講座の学習目標としては、

- ラボラトリー方式の体験学習による学びの基礎的な考え方と具体的な進め方について体験を通して理解を深める
- グループ・ワークをおこなう過程で生まれるプロセス（メンバーの参加の仕方、コミュニケーションのありよう、意思決定、リーダーシップなど）に気づく
- グループ・ファシリテーターとして実践する際の自分のありよう（他者との関わり方、グループの中で自分の影響など）について、自ら気づくとともに、メンバー相互のフィードバックの授受を通して、学ぶ

＝このようなことを目指している方にお薦めします＝

ラボラトリー方式の体験学習を基礎から学んでみたい人
日常生活での人とかかわり方を見直したい人
人との関係やチームワークを大切にしたい人
人の気持ちを大切にしたい支援をしたい人
グループワークを用いた教育実践をしたい人 など



第4回 プロセスから学ぶグループとわたし【名古屋開催】

日 程	2017年5月27日（土）10:00～18:00 28日（日）9:30～17:00
担当者	津村 俊充、他
定 員	18名
会 場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	受講料 27,000円（税込）

第5回 プロセスから学ぶグループとわたし【札幌開催】

日 程	2017年6月24日（土）10:00～18:00 25日（日）9:30～17:00
担当者	津村 俊充、他
定 員	18名
会 場	学校法人三幸学園 札幌ビューティーアート専門学校 〒060-0061 北海道札幌市中央区南1条西8丁目11-1
参加費	受講料 27,000円（税込）

第6回 プロセスから学ぶグループとわたし【東京開催】

日 程	2017年7月29日（土）10:00～18:00 30日（日）9:30～17:00
担当者	津村 俊充、他
定 員	18名
会 場	（株）みくに出版 セミナールーム 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2丁目3-14 日能研恵比寿ビル TEL 03-3770-6930
参加費	受講料 27,000円（税込）

第7回 プロセスから学ぶグループとわたし【大阪開催】

日 程	2017年9月23日（土）10:00～18:00 24日（日）9:30～17:00
担当者	津村 俊充、他
定 員	18名
会 場	学校法人三幸学園 大阪リゾート＆スポーツ専門学校 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-6-2
参加費	受講料 27,000円（税込）

第8回 プロセスから学ぶグループとわたし【福岡開催】

日 程	2018年2月3日（土）10:00～18:00 4日（日）9:30～17:00
担当者	津村 俊充、他
定 員	18名
会 場	学校法人三幸学園 福岡リゾート＆スポーツ専門学校 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-27
参加費	受講料 27,000円（税込）

参加者の声（アンケートより）

- ・ グループの中で、自分が人とどのようにかわろうとしているかを捉えることができた。新たな課題も見えた気がする。
- ・ 体験的に、グループプロセスについて学ぶことができた。素敵な仲間と出会うことが出来た。
- ・ 現場で使える材料が増えた。
- ・ 教育担当になったのが最近という点から、この視点でものごとを考察する機会が乏しかったので、全てが新鮮であり満足した。
- ・ 体験と理論を丁寧に学ぶことが出来た。
- ・ グループ・ダイナミクスの全体像が知れた。グループと自分の関係性にしっかり目を向けることが出来た。
- ・ 丁寧なふりかえりを通して、自分がグループの中でどのような役割を果たしていたか、意識・無意識の両面から理解することができた。また、他者の行動、思考のふりかえりからも、気づきを得ることが多くあった。

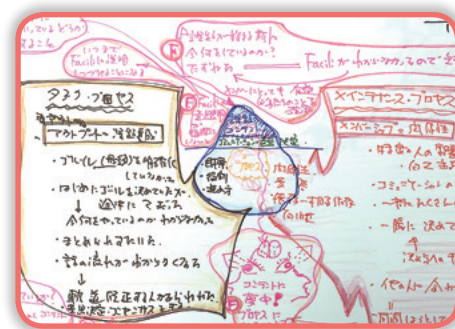
JIEL ワークショップ

JIEL では、Tグループ（人間関係トレーニング）をベースに、さまざまなテーマのもとで学ぶ場を提供しています。これまで、ラボラトリー体験学習応用実践講座として開催していた講座も、JIEL ワークショップのジャンルの中に組み込み、多くの方々の関心にお応えできるアップデートな公開講座をテーマに選び、随時開催します。

今年度予定の JIEL ワークショップの講座タイトルです。開催時期と場所は、随時 JIEL のホームページやメルマガ、Facebook などにて、ご案内していきます。ぜひ、JIEL メルマガにもご登録ください。

JIEL ワークショップ

- グループプロセスコンサルタント・トレーニング
- チームビルディング～私をいかす、相手をいかす、チームづくり～
- プロセス・コミュニケーション
- アサーティブ・コミュニケーション
- リストラクティブ・サークル
- セルフ・サイエンス
- プログラムを成功に導く GTO
- AI 基礎講座：AI アプローチを学ぶ基礎講座
- AI アドバンスド講座：AI リーダーシップ講座
- ファシリテーター継続研修～プロセスにこだわる～
- ファシリテーター継続研修
～メンバーとしてグループをファシリテーションする～
- ESD 実践者の養成講座



<開催決定>

第3回グループプロセスコンサルタント・トレーニング

～コンサルタントとしてチームをファシリテーションする～

この講座では、チーム活動のメンバーとは異なるメンバー（部外者）として、チームに関わり、とりわけグループのプロセスに働きかけるファシリテーションを学ぶことを目指しています。

ねらいとしては、下記のようなことを考えています。

- チームの中での人間関係（グループプロセス）を観る視点をもつとともに、実際に気づくことができる感受性を高める。
- チームや他のメンバーに与えている自分の影響に気づく。
- チームやメンバーの成長に向けて働きかける視点やスキルを養う。

※本講座の参加に際して、JIEL のラボラトリー体験学習の基礎講座（「プロセスから学ぶグループとわたし」や「プロセスから学ぶコミュニケーション」）もしくは南山大学人間関係研究センター人間関係講座「グループ」を修了されている方におすすめします。ただし、そのほかに、体験学習によるグループワークを経験されている方も、どうぞご参加ください。

第3回グループプロセスコンサルタント・トレーニング

日程	2017年10月7日（土）午前10時（プログラム開始） 3泊4日 10日（火）午後5時（プログラム終了）夜もプログラムが予定されています。
担当者	津村 俊充
定員	20名
会場	南山学園研修センター 名古屋市昭和区広路町隼人 30（地下鉄いりなか駅から徒歩6分） TEL 052-837-6466
参加費	受講料：54,000円 滞在費：40,000円（予定）（宿泊費、食費、会場費を含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただきます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程にご参加いただく必要があります。

<新企画> 未来を創る次世代の人たちを育てる－ESD 実践者の養成

ESD とは「持続可能な開発のための教育」。環境、貧困、人権、平和、開発といったさまざまな領域で世界規模の問題や課題が起こっています。私たちの時代は私たちのためだけのものではありません。私たちには、未来の子どもたちへ引き継いでいく義務と責任があります。

JIEL は「共に生きる社会の未来の創造をめざして」、とくに教育関係者、環境学習実施者、自然体験活動実践者等これまで ESD に関わってきた方々を始め、ESD に関心のある方、未来を担う次世代の教育に関心のある方などを対象に、ESD 実践者の養成を行うとともに、ネットワークをつくる場を始めます。

講座では日本で先駆的に活動されている ESD 活動家を招聘するとともに、ラボラトリー方式の体験学習を採り入れた学び方を学び、ESD 活動の基礎となる現状や知識の理解を深め、実践者として活動していくためのプログラミングとファシリテーションを修得します。

全 6 回まとめて申し込みでの受講参加費：30,000 円※

※参加者の都合や関心に応えるため、各回単科での参加も可能としますが、全 6 回の講座を通することで学びの効果を最大化し、また費用的なメリットが出ることから基本的には全 6 回の受講をお勧めします。

第 1 回講座「ESD の考え方、方法論を学ぶ」

日 程	2017 年 7 月 22 日 (土) 14:00 ～ 16:00	参加人数	45 名
講 師	日本環境教育フォーラム 理事長／立教大学 ESD 研究所客員研究員 川嶋 直 氏		
会 場	ウィルあいち (名古屋市中区)	単科参加費	3,000 円
内 容	ESD の核となる考え方や、ESD で育成したい人物像、具体的な手法について		

第 2 回講座「実践者の声を聴き、プログラムを体験する」

日 程	2017 年 8 月 6 日 (日)、7 日 (月) 2 回 各回 13:30 ～ 16:30	参加人数	各回 15 名
講 師	NPO もりの学舎自然学校 水谷 央氏、よりあい工房ぱんどり 古澤法之氏、トヨタ白川郷自然学校 学校長 山田俊行氏、名古屋大学教育学部附属中高等学校 三小田博昭氏、日本環境教育フォーラム 理事 西村 仁志 氏		
会 場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)	単科参加費	各回 3,000 円
内 容	現場で実践している方々の生の声を聴き、現場を知る		

第 3 回講座「実践者とプログラムを作り、体験する」

日 程	2017 年 8 月 26 日 (土)13:30 開始 27 日 (日)15:00 終了 (合宿形式)	参加人数	15 名
講 師	公益財団法人キープ協会 鳥屋尾 健 氏		
会 場	おんたけ休暇村	単科参加費	12,000 円 (宿泊費は実費負担)
内 容	ESD の実際や実施されているプログラムを肌で感じる体験をする		

第 4 回講座「体験から学ぶ」を学ぶ～ラボラトリー方式の体験学習とは～

日 程	2017 年 9 月 9 日 (土) 10:00 ～ 17:00	参加人数	15 名
講 師	日本体験学習研究所 代表理事／南山大学名誉教授 津村俊充		
会 場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)	単科参加費	6,000 円
内 容	「体験学習の基本知識」「人間関係づくりのファシリテーション」について、学術的・専門的に理論面を学び、実習で体感することを通して、自ら行ってきたことの本質を知り、伝えられるようになる。		

第 5 回講座「参加者メンバーで未来を描く」

日 程	2017 年 10 月 21 日 (土)10:00 開始 22 日 (日)17:00 終了 (合宿形式)	参加人数	15 名
講 師	日本体験学習研究所 代表理事／南山大学名誉教授 津村俊充		
会 場	南山学園研修センター (名古屋市昭和区)	単科参加費	15,000 円 (宿泊費は実費負担)
内 容	共通の目指すべき未来像を持ち、そこにあるべき ESD 実践者像とその育成に必要なことは何かを明確にし、それを実現するための ESD 講師育成プログラムをつくる		

第 6 回講座「講座プログラム企画発表会 & シンポジウム」

日 程	2018 年 1 月 13 日 (土) 13:30 ～ 16:30	参加人数	受講者 15 名 + 一般参加者 (30 名)
コメンテーター	これまでの講座の講師 (川嶋直氏、西村仁志氏、他)		
会 場	当研究所拠点「ヒューマンコラボレーションセンター」(名古屋市天白区)	単科参加費	3,000 円
内 容	第 5 回講座でつくった ESD 講師育成プログラムを参加者・講師・ESD に関心を持つ一般参加者の前でプレゼンテーションし、実際に活用するためのフィードバックを得る		

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

「体験から学ぶ」ことの入門講座として「実践 人間関係づくりファシリテーション（金子書房）」をテキストに、各章の内容を紹介しながら、ラボラトリー方式の体験学習を楽しみながら学んでいただく講座です。

体験学習が初めての方から体験学習を実施しているファシリテーターの方までご参加いただけます。



実践 人間関係づくりファシリテーション

監 修 津村俊充 星野欣生 編 金子書房
B5 判並製 192 頁
定 価 本体 2,300 円 + 税
発 行 2013 年 12 月 27 日
ISBN 978-4-7608-2647-6 C3011

本書は、人間関係づくりトレーニングの実践において 10 のテーマをとりあげ、学習者とともに学ぶファシリテーターの実践を紹介しています。座学として学ぶだけではなく、体験を通してともに学べるように、楽しいエクササイズを紹介しながら、学校や職場、地域やコミュニティの領域まで人間関係づくりの可能性を紹介しています。本講座は、第 2 章から始まります。最終回に、第 1 章と第 12 章の紹介講座があり、人間関係づくりファシリテーションの人間観と教育プログラムづくりを扱います。どの章からでも参加可能です。12 講をお楽しみください。

＜目次＞	1 章 ファシリテーションの人間観 ファシリテーションは人をどうみているか	7 章 決める 私が決めることは生きる責任をもつこと
	2 章 場をつくる 気持ちのわかしあいが安心の場をつくる	8 章 働きかける プロセスに働きかける
	3 章 ひらく 語ること・聴くことからかわりはひらく	9 章 ふりかえる 体験をふりかえることで学びになる
	4 章 観る 今ここのプロセスをありのままにみる	10 章 共に成長する かわりを通して成長する
	5 章 気づく 気づきより新しい私に出会う	11 章 つながる 対話がつながりを創り出す
	6 章 受け容れる 受け容れることからかわりが変わる	12 章 教育プログラムをつくる プログラムデザイナーとしてのファシリテーター

＜日 程＞	春期開講	秋期開講
第 2 章&第 3 章	2017 年 6 月 10 日（土）	2017 年 10 月 14 日（土）
第 4 章&第 5 章	2017 年 6 月 17 日（土）	2017 年 10 月 21 日（土）
第 6 章&第 7 章	2017 年 6 月 24 日（土）	2017 年 10 月 28 日（土）
第 8 章&第 9 章	2017 年 7 月 1 日（土）	2017 年 11 月 4 日（土）
第 10 章&第 11 章	2017 年 7 月 8 日（土）	2017 年 11 月 11 日（土）
第 1 章&第 12 章	2017 年 7 月 15 日（土）	2017 年 11 月 18 日（土）



※各回参加シールをお渡ししています。参加者の皆様にはシールコレクションを楽しんでいただいています。全コース終了後、実践人間関係づくりファシリテーション 12 講の修了証をお渡しします。

会 場	いずれの回も ヒューマンコラボレーションセンター HCC 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
定 員	いずれの回も 12 名
参加費	各章 3,240 円（税込） 午前・午後通しでご参加の場合には、6,480 円（税込）となります。

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第2章「場をつくる」

「場をつくる」とは何をすることでしょうか？

この講座では、こうした参加者各自や場に生まれる「懸念」を軽減し、誰もが「今ここ」の自分や他者を受け容れて活動できる「場づくり」について、実際にその場の体験を通じて学んでいきます。さまざまな「懸念」を減らし、一人ひとりが自由に発言・行動できる雰囲気「場をつくる」過程において、どのような働きかけが必要で、どんな配慮が関係づくりの助けになるのかを共に学び合っていきましょう。それが結果的に「場をつくる」ときに必要なファシリテーターの視点や働きかけを明らかにしていくことにつながります。

楽しみながら「場をつくる」ことに、皆様とともにチャレンジしていきたいと考えています。

日 程	春期：2017 年 6 月 10 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2017 年 10 月 14 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第3章「ひらく」開催）
担当者	水野 節子・津村 俊充	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第3章「ひらく」

自分のことを語ること、それも自分が少し苦労しながら乗り越えてきた「自分の中で輝けるもの（ポジティブコア）」を探求するインタビューを受けながら語ること、さらにはその「ポジティブコア」を探求するための声かけや聴くことから人間関係づくりは生まれることを体感してみることを目指しています。

AI（アブリエイティブ・インクワイアリー）アプローチと言われる考え方を紹介します。AI アプローチの学びの入り口としても、参加者の方々に関心をもっていただければ幸いです。

具体的には、インタビューシートをもって、お互いに丁寧なインタビューをしながら、かかわりが深まる体験、心をひらくかかわりの体験が実現されることを願っています。

日 程	春期：2017 年 6 月 10 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2017 年 10 月 14 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第2章「場をつくる」開催）
担当者	津村 俊充・水野 節子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第4章「観る」

人間関係づくりファシリテーターが扱う大事なことのひとつに「コンテンツとプロセス」があります。ファシリテーターは、何をしているか、何を話し合っているかといった内容(What)とともに、それがどのように行われているか、一人ひとりがどのようにそこにいるか(How)といった“今、ここ”で“起こっていること”を観る力を養い、磨くことが大切となります。この講座では、参加者がグループをつくり、ワークをする人とオブザーブする人に分かれ、オブザーバー役はそこで“起こっている”ことを丁寧に観るトレーニングをします。観る視点やスキルを高める力を養うことができます。

日 程	春期：2017 年 6 月 17 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2017 年 10 月 21 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第5章「気づく」開催）
担当者	春期：林 芳孝・鈴木 由子 秋期：林 芳孝・杉山 郁子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第5章「気づく」

わたしたちは日常自分の枠組を用いて、自分や他者、世界を見ています。この講座では、自分自身のものの見方やとらえ方への気づきを深めるために、「ジョハリの窓」のモデルを活用した実習「私の心の窓」に取り組みます。体験を通して気づいたことをオープンに他者に伝える「自己開示」と、他者が気づいたことを率直に伝えてもらう「フィードバック」をすることで、関係の中にある新しい自分自身に気づき、さらに他者との豊かな関係へとつながっていく体験を、みなさんと一緒に深めていきたいと思っています。

日 程	春期：2017 年 6 月 17 日 14:00 ～ 17:00 秋期：2017 年 10 月 21 日（土） 14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 4 章「観る」開催）
担当者	春期：鈴木 由子・林 芳孝	秋期：杉山 郁子・林 芳孝

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第6章「受け容れる」

この講座では、「受け容れる」ことから次の行動やかかわりが生まれ、次の展開や新たな現実も生まれてくることを体験学習の実習を通じて体験します。そうした体験から、参加者各自、あるいはグループの「受容」に対する傾向に気づき、実際に「受け容れる」ことからどのような影響関係が生まれ、課題達成に向けていかに働きかけることができたかをふりかえります。

そこから、「人間関係づくり」に不可欠な「受容」を促進するために、ファシリテーターにはどんな働きかけが必要かを学び合い、参加者の皆様に自分としてはどのようなことを大切にしていきたいかを見つけていただける場にしていきたいと考えています。

日 程	春期：2017 年 6 月 24 日（土） 10:00 ～ 13:00 秋期：2017 年 10 月 28 日（土） 10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 7 章「決める」開催）
担当者	春期：水野 節子・杉山 郁子	秋期：岸田 美穂・杉山 郁子

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第7章「決める」

「意思決定」はプロセスを捉える視点として「個々のメンバーの様子」「コミュニケーション」と同様に主要なものとして扱われています。人生における重要な場面だけでなく、日常茶飯事行われている「意思決定」を少し意識することで、意思決定とは何か、意思決定が及ぼす影響、ファシリテーションにおける意志決定の意味などに気づき、学んでいきます。

この講座では、実際に本の中で紹介されている実習を体験していただき、意思決定をどのように学ぶことができるかを知っていただくと共に、体験を通して自分自身が意思決定をどのようにしているのか、そのことがさまざまなことにどのように影響しているのかについて学んでいきたいと考えています。

日 程	春期：2017 年 6 月 24 日（土） 14:00 ～ 17:00 秋期：2017 年 10 月 28 日（土） 14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 6 章「受け容れる」開催）
担当者	春期：杉山 郁子・水野 節子	秋期：杉山 郁子・岸田 美穂

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第 8 章「働きかける」

日常では仕事の成果を問われ、そこにいる人の「気持ち」など関係性を忘れがちです。しかし、「プロセス」が重視されない組織では、成果を出してもメンバーの満足度が低くなってしまいます。組織活動においては、成果を出しながら同時に関係性も満たすために、「プロセス」に働きかけるファシリテーションが重要になってきます。

この講座では、「グループプロセス」という視点を取り入れて課題を達成しながら、どのように「プロセス」に働きかければよいかをともに学び、考えていくことができる場にしていきたいと思っています。

日 程	春期：2017 年 7 月 1 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2017 年 11 月 4 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 9 章「ふりかえる」開催）
担当者	鈴木 由子・間宮 基文	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第 9 章「ふりかえる」

この講座のテーマは、体験学習での「ふりかえり」です。「ふりかえり」とは、体験学習の循環過程の中で、大きく捉えたと「指摘」、「分析」、「仮説化」が該当しますが、それについて 2 回の実習を通して丁寧に取り組んでいきます。1 回目の実施後ふりかえりとフィードバックを行い、その気づきを基にして、2 回目の実習に取り組み、更なる気づきが生まれる過程を体験することを試みます。

ここで学んだ気づきやふりかえりのステップを、日常生活の中で活かすことに繋げられる可能性について、探っていく場にしていきたいと考えています。

日 程	春期：2017 年 7 月 1 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2017 年 11 月 4 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 8 章「働きかける」開催）
担当者	間宮 基文・鈴木 由子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第 10 章「共に成長する」

私たちが普段、気づいたり、学んだりするのはどんな時でしょうか。何か新しいことに挑戦したり、今までできなかったことができるようになるのはどんな時でしょうか。それはどんな場でしょうか。体験学習では、他者とともに今ここで起こっていることを丁寧にみてお互いにフィードバックしあうことで、気づき生まれ、変化や成長につながっていきます。気づきや学びを深めるためには自分の感じていることを本音で言い合える安全・安心の風土が重要となります。この講座では、お互いの成長にどのようにかわれるのかを意識しながら実習に取り組み、ともに学び合う場づくりや自分や他者が成長していくために大切なことをみなさんと一緒に考えていきます。

日 程	春期：2017 年 7 月 8 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2017 年 11 月 11 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 11 章「つながる」開催）
担当者	岸田 美穂・岡田 衣津子	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第 11 章「つながる」

この講座では、さまざまな立場で、考え方や価値観をもつ人々との話し合いを通し、架空のまちの公園づくりを試みます。自分の意見をどのように主張し、目の前にいる他者の意見をどのように受け入れるか？一人ひとりの違いを排除するのではなく豊かさとして受け入れ、それぞれの思いを生かしあうことができるか、真の民主主義とはどういうものか、エクササイズを通してともに学び、考えたいと思います。

日 程	春期：2017 年 7 月 8 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2017 年 11 月 11 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 10 章「共に成長する」開催）
担当者	岡田 衣津子・岸田 美穂	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第 1 章「ファシリテーションの人間観」

この講座では、実際に、グループを作り、ファシリテーター役とオブザーバー役を決めて、実習体験をしてもらいます。ファシリテーター役の方は、自分の考えるファシリテーターの働きを自分が所属するグループのメンバーとともに活動しながら試みてもらいます。グループ活動終了後、ふりかえり用紙をもとにグループ体験、ファシリテーター体験をふりかえり、ファシリテーターの働きかけを中心に分かち合いをします。その分かち合いの時には、オブザーバー役から観察したメモータをもとに報告をしてもらいます。これらの分かち合いを通して、ファシリテーターの働きの留意点やその働きに根ざしている人間観をとともに探求します。

日 程	春期：2017 年 7 月 15 日（土）10:00 ～ 13:00 秋期：2017 年 11 月 18 日（土）10:00 ～ 13:00	（同日 14:00 ～ 第 12 章「教育プログラムをつくる」開催）
担当者	林 芳孝・津村 俊充	

実践 人間関係づくりファシリテーション 12 講

第 12 章「教育プログラムをつくる」

この講座では、参加者のみなさんがこれまで体験学習に参加したり、また実際にファシリテーターとして体験学習を実施したりした体験をもとに、プログラムづくりを検討することを予定しています。

具体的には、グループになって、「体験学習のプログラムをデザイン（設計）する際に大切なことは何か？」個人でメモした後に、話し合ってもらい模造紙にまとめてもらいます。そして、各グループが発表をして、それらの共通の要素は何か、またどのようなことを大切にしてプログラムをデザインすればよいのかを、参加者とともに考えたいと思います。

日 程	春期：2017 年 7 月 15 日（土）14:00 ～ 17:00 秋期：2017 年 11 月 18 日（土）14:00 ～ 17:00	（同日 10:00 ～ 第 1 章「ファシリテーションの人間観」開催）
担当者	津村 俊充・林 芳孝	

書齋で学ぶ「つんつんのミニレクチャー 32 講」 動画 DVD 完成!!

ラボラトリー方式の体験学習の基本的な考え方をお伝えする動画を作成しました。体験だけの学習に終わらないために、体験後の内省と気づきの概念化が大切です。その手助けになるのが、認知地図 (cognitive map) です。体験学習参加者の皆様に、ホットな体験とクールな概念をこの動画を通してつなげていただけると幸いです。



つんつんのミニレクチャー 全4巻

企画・著作・出演 津村 俊充 (JIEL 代表理事・所長)
撮影・制作 津村 勇一郎 (ツムラオフィス)
定 価 全4巻セット 下記価格表参照
発 行 2017年1月1日

ラボラトリー方式の体験学習に関わる基本的な考え方を、4つのジャンル『ラボラトリー教育基礎編』、『コミュニケーションとグループ編』、『ファシリテーター編』、『Tグループ編』に分け、計32本の動画にまとめました。

ラボラトリー方式の体験学習を用いた「人間関係づくりファシリテーション」の実践を行われている方、さまざまな領域の教育や組織開発に関わる方は必携です。

第1巻 ラボラトリー教育基礎編

「人間関係づくりファシリテーション：人間関係とは」
「ラボラトリー方式の体験学習とは」
「ラボラトリー体験学習から学ぶために」
「関係を観る視点：コンテンツとプロセス (個人レベル)」
「ジョハリの窓 (The Johari Window) に学ぶ」
「フィードバックを受け与える」
「グループの意思決定のスタイル：コンセンサス」
「社会的相互作用の循環過程」

第2巻 コミュニケーションとグループ編

「コミュニケーションのプロセスモデル」
「コミュニケーションの障害要因は」
「コミュニケーションの働きと聴くこと」
「グループの中で何を観るか」
「グループの発達：ギブの懸念モデル」
「グループの発達：シュッツの理論」
「グループの発達：タックマンモデル」
「K. レヴィンの変化モデル：ギブの懸念を活用する」
「リーダーシップ研究の流れ」

第3巻 ファシリテーター編

「体験学習のふりかえりとファシリテーターの働き」
「コルブモデルの体験学習のステップと期待される効果」
「体験学習のステップを多面的に考える」
「実習教材を用いたファシリテーションガイドライン」
「2つのプロセスに働きかけるファシリテーター」
「E. シャインの ORJI モデル」
「W.B. レディのプロセスコンサルタントの働きかけ」
「教育者養成に向けての視点とアプローチ」

第4巻 Tグループ編

「Tグループの誕生と日本における変遷」
「Tグループの変化：誕生から今日」
「Tグループと対話型OD」
「K. レヴィンの人間観」
「TグループとBEGとの比較」
「エントリーとリエントリー」
「グループワークがもたらす効果」

「つんつんのミニレクチャー」DVD全4巻 販売価格 (すべて他に消費税がかかります)

個人の学習のために利用	JIEL 主催研修に参加	個人支払い (領収書個人名)	16,000 円
		法人・企業支払い (領収書法人名)	32,000 円
研修時に再生利用	JIEL 主催研修未参加	個人支払い (領収書個人名)	32,000 円
		法人・企業支払い (領収書法人名)	64,000 円
研修時に再生利用	JIEL 主催研修会参加にかかわらず	個人・法人・企業にかかわらず	640,000 円

※ 複製および営利目的での動画のご使用はかたくお断りします。

※ JIEL 主催研修とは、Tグループ、Tグループファシリテーター (トレーナー) トレーニング、プログラムデザイナートレーニングに限らせていただきます。

JIEL 研究員との交流会「JIEL 春まつり：学びの祈願祭」

JIEL は任意団体として9年、一般社団法人化して設立して3年目の春を迎えています。2017年度から研究員を広げ、多くの方々の力を結集しながら、JIEL（HCC オフィス）を基地にラボラトリー方式の体験学習を日本全国の人々に届けたいと考えています。

JIEL の活動に興味・関心をもっていただき、賛同してくださる方々、新しく加わった研究員と共に春の清里の自然の中で交流をもつ企画を考えました。「2017JIEL 春まつり」と題して、2017年の学びの祈願をすると共に、ラボラトリー体験学習の様々な展開の可能性をお互いに掘り起こす企画です。

清里の自然の春を楽しむ、マインドマップを学ぶ、個人やグループのプロセスから学ぶ体験や研究員からの話題提供など現在検討中です。

2017年度のスタートは、一人ひとりの一年の学びを考え、お互いに一年のビジョンを語り合いながら、参加者一人ひとりにとって2017年の学びの種まきを共に祝います。

日 程	2017年4月21日（金）14:00 受付 14:30 開会 2泊3日 23日（日）15:00 解散（清里行きバス 15:25 出発）
担当者	津村 俊充 他
定 員	18名
会 場	（財）KEEP 協会 清泉寮 〒407-0311 山梨県北杜市高根町清里 3545 TEL 0551-48-2111
参加費	受講料：30,000 円（税込）
滞在費	36,000 円（税込）（予定） （スタンダードコテージ5人利用：宿泊・食事・会場費含む）

※宿泊型プログラムのため、上記施設にご宿泊いただけます。また、グループ体験を通した学習のために、全日程でご参加いただく必要があります。

※参加者人数（コテージでの宿泊者数）により変動がございます。ご了承ください。
清泉寮にて2泊6食分の費用です。



JIEL 研究員との交流会「JIEL 秋まつり：学びの収穫祭」

2017年の学びを参加者とともに確かめ合う場を創りたいと考えました。2017年11月26日（日）は、JIEL 公開講座に参加してくださった方々や研究員が集まり、「JIEL 秋まつり：学びの収穫祭—私の一年を仲間とともにふりかえる—」を開催します。

JIEL が主催する公開講座やイベント等に参加してくださった方々を対象に、講座に参加してどのような学びがあったか、その学びを日常の中でどのように生かされているかを共にわかちあう時をもちます。参加者同士、久しぶりの再会を楽しむのもいいですね。改めて、今の私をふりかえることから参加者の方々が元気になってもらえるような企画にしたいと考えています。

新しく研究員になったスタッフもともに集い、食事をとりながら、一年間をふりかえるセッションを企画しています。
みなさまのご要望やご意見があれば、大切な収穫物になります。

日 程	2017年11月26日（日）午前11時～午後5時
定 員	最大30名
会 場	ヒューマンコラボレーションセンターHCC 名古屋市天白区原一丁目2304 ライオンズマンション 原102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	2,000 円（消費税を含む：お食事代）

※参加費は当日会場でお支払いください



ラーニングカフェ FOR CHANGE

ラーニングカフェ FOR CHANGE とは

日本体験学習研究所 (JIEL) においては、実験的・冒険的試みとして、地域の人々に対話の場を提供して、参加者のみなさまが今考えている関心事や問題を話し合いながら、どのようなことがそれらの関心事に潜んでいるのかを共有し、共通理解を生まれる場を創ってみることにしました。古くは、1950 年頃より、R. リピットをはじめ多くのラボラトリー体験学習開発の研究者の方々も実施されていたようです。

参加する上で必要な資格は特にありません。ただ来られる方は、ともに語り合うことを喜びと感じ、他者のために探求する時間とアイデアを惜しまないボランティア精神を発揮し、また話し合っている事柄（コンテンツ）とありよう（プロセス）にともに責任をもっていただけることを願っています。

このラーニングカフェ FOR CHANGE では、私どもが何か話題を提供するのではなく、参加される方がそれぞれ自分の関心を投げかけるところからスタートしたいと考えています。いかに共有し合える体験ができるか、そのことを楽しみにしています。関心をもたれましたら、開始時間に会場の HCC に足をお運びください。

2017 年度のラーニングカフェ FOR CHANGE の開催予定日（各回とも 19:00 ～ 21:30）

第 1 回	2017 年	4 月 14 日 (金)	第 5 回	8 月 4 日 (金)	第 9 回	12 月 22 日 (金)
第 2 回		5 月 17 日 (水)	第 6 回	9 月 27 日 (水)	第 10 回	2018 年 1 月 24 日 (水)
第 3 回		6 月 30 日 (金)	第 7 回	10 月 20 日 (金)	第 11 回	2 月 23 日 (金)
第 4 回		7 月 19 日 (水)	第 8 回	11 月 15 日 (水)	第 12 回	3 月 14 日 (水)

会 場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
参加費	1,000 円（茶菓代 & 1 ドリンク付き、税込）※参加費は当日会場でお支払いください

体験学習実践研究会

体験学習実践研究会とは

学校における教育者は、教科教育のありようを考えるとともに、学習者－教育者関係、学習者関係、教師間のチーム活動におけるグループダイナミクスなどの“関係そのもの”をいかに扱うことができるかが大きな課題です。今日、生徒同士の人間関係づくりやキャリア教育などで自己理解のための授業展開も教師に求められています。

また、企業内教育においても「リーダーシップ」、「ファシリテーション」など組織やチーム力を向上させるための体験学習を用いたセミナーが開かれています。

医療・看護の領域では、看護医療関係者のチーム力、ひいては人間関係力の養成の必要性が喫緊の課題になっています。各県の看護協会の研修テーマには、「リーダーシップ」、「コミュニケーション力」、「グループ・マネジメント」、「ファシリテーター養成」、「ファシリテーション」などをテーマに教育・研修が行われています。

この研究会では、さまざまな領域で人と関わる力の育成に関心をもつ人々に集まっていただき、『体験学習』のための実習教材の体験をしたり、研修教材の開発やプログラムの設計・展開に関する討論を行いたいと考えています。

2017 年度の体験学習実践研究会の開催予定日（各回とも 13:30 ～ 16:30）

第 1 回	2017 年	5 月 20 日 (土)	参加資格	人間関係力の育成や人間関係づくりに関心をおもちの方、特に「体験」を通して学びの場を創ることに関心をおもちの方ならどなたでも参加可です。（不明な場合は、お問い合わせください）
第 2 回		6 月 11 日 (日)		
第 3 回		7 月 16 日 (日)	会 場	ヒューマンコラボレーションセンター HCC 名古屋市天白区原一丁目 2304 ライオンズマンション原 102 HCC TEL/FAX 052-804-1889
第 4 回		9 月 2 日 (土)		
第 5 回		10 月 15 日 (日)	会 費	1,000 円（税込）※参加費は当日会場でお支払いください
第 6 回		12 月 9 日 (土)		
第 7 回	2018 年	2 月 17 日 (土)		

受託研修（コンサルティング）

日本体験学習研究所（JIEL）では、学校教育現場、企業など組織内研修、看護医療現場での医療従事者の研修など幅広いジャンルの現場から研修依頼をいただき、各機関のご要望にお応えしています。これまでコミュニケーション、グループワーク、チームづくり、組織開発など人間関係から生み出されるグループダイナミックスを活かす研修を提供し、好評をいただいています。さまざまな機関のご要望を聞き取り、ニーズにあったオリジナルのプログラムのデザイン・実施から、それぞれの機関の変革のためのコンサルティングまでご相談・ご依頼をお引き受けしています。

研修・ご相談についてのご質問、ご依頼は、まずはお気軽に JIEL 公式サイトよりお問い合わせください。

JIEL
公式サイト
<http://www.jiel.jp>

2016 年度研修実績

一般社団法人日本産業カウンセラー協会東関東支部	コミュニケーションの理論と活用
岡山県私立幼稚園連盟	職場の人間関係をつくるために
株式会社日能研東海	グループワーク研修
小牧市教育委員会	人間関係づくり
全日本私立幼稚園幼児教育研究機構	園長・リーダー研修
名古屋医療センター	リーダーシップ
名古屋記念病院	人材育成 研修（リーダーシップ研修）
愛知県立大学看護実践センター認定看護師教育課程	リーダーシップ（ファシリテーション）
愛知県立大学看護実践センター認定看護師教育課程	リーダーシップ「アサーティブコミュニケーション」
愛知地区教育研究会特別活動部会	「よりよい人間関係を築こうとする実践力のある児童生徒の育成」のために
一般社団法人日本産業カウンセラー協会中部支部	「場を生きし気づきを生むグループファシリテーション」
京都府私立幼稚園連盟	新規採用教員研修
公益社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会	第 64 回教職員教養講習会 「私も、あなたも大切にするコミュニケーション『アサーション・トレーニング』」
篠原学園 保育ファシリテーター養成講座 初級	グループプロセスを観、自分を活かす
篠原学園 保育ファシリテーター養成講座 中級	ファシリテーター体験を通してファシリテーションを学ぶ
全国国立病院看護部長協議会	ファシリテーション・スキル研修
中部学院大学	実習教育研修会 ファシリテーション研修
日本福祉大学社会福祉総合研修センター	愛知県老人福祉施設協議会 施設長研修「共感コミュニケーション」
日本福祉大学社会福祉総合研修センター	「Aいび川」介護事業部主催研修 「クレーム対応の基本」
日本福祉大学社会福祉総合研修センター	特別養護老人ホーム小原安立荘 職員研修 「アサーション入門」
日本福祉大学社会福祉総合研修センター	愛知県老人福祉施設協議会 生活相談員研修 「クレーム対応で信頼獲得！～共感から生まれるつながり」
日本福祉大学社会福祉総合研修センター	社会福祉法人昭徳会 職員研修 「クレーム対応について」
名古屋市教育委員会	イーブルなごや「家族に届けるママの笑顔と笑い」
名古屋市教育委員会	人権啓発ファシリテーター養成講座 「参加者同士が学びを深めるためのコミュニケーション技法を学ぶ ～アサーション、DESC 法、アイ（I）メッセージ～」
名古屋市教育委員会	千種生涯学習センター＜女性セミナー＞ 「もっと自分を好きになる！～表現力 UP で魅力 UP～」
名古屋市教育委員会生涯学習課	生涯学習ボランティア研修会
名古屋市消防学校 主任クラス	リーダーシップ研修
名古屋市消防学校 係長クラス	リーダーシップ研修

その他多数

受講申込

[1] 受講申込

申込方法

基本的には WEB ページから申込みをお願いします。
※ WEB ページが難しい場合には、FAX (052-804-1889) にてお申込みください。

JIEE
公式サイト
<http://www.jiel.jp>

申込後の講座参加者の変更

公平を期すために、個人名での申込のみとさせていただきます。
団体名での申込及び申込後の参加者の変更は受け付けません。

[2] 受講料の振込

- ①原則 E-mail にて振込依頼を送付いたします。記載されている受講料を指定の銀行口座へお振込ください。
- ②期日にご入金を確認できない場合は、キャンセルされたものとみなしますので、ご注意ください。

<振込先>

三菱東京 UFJ 銀行 平針支店 (店番 095)
(普通) 口座番号 0159782
名義「一般社団法人日本体験学習研究所 代表理事 津村俊充」

もしくは

郵便局普通口座
記号 (12180) 番号 (26757301)
名義：シヤ) ニホンタイケンガクシュウケンキュウジョ

[3] 受講案内

受講料の入金確認後、原則 E-mail にて受講案内等をお送りします。振込後、1 週間以内に届かない場合はご連絡をください。

[4] 開講日

- ①各講座の日程に合わせて、指定の会場までお越しください。講座ごとに、開講日、時間、会場は異なります。お間違いのないよう充分にご確認ください。
- ②テキストの必要な講座は、初日に受付にて販売いたします。

[5] キャンセル連絡とキャンセル料について

	受講料入金後の場合	受講料の 20% (各講座上限 1 万円) + 振込手数料
当研究所受付日	講座開始 10 日前～3 日前の場合	受講料の 50% + 振込手数料
	講座開始 2 日前～当日の場合	受講料の全額 (返金不可)

注 1: 受講をキャンセルされる場合は、早急にご連絡をください。当研究所事務受付時間外に E-mail、またはファックスにてキャンセル連絡をいただいた場合は、翌事務受付日扱いでキャンセル処理をいたします。あらかじめご了承ください。

注 2: 宿泊講座の滞在費については、各宿泊施設のキャンセルポリシーに基づきで返金対応をいたします。

[6] 講座の中止について

申込者が規定の人数に満たない場合、天候や自然災害、交通事情などの影響のある場合、担当講師の避けられない事情が発生した場合、開講を中止することがあります。
当研究所の理由により講座を中止する場合は、入金された受講料を全額ご返金いたします。

2017年4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	土		1	月		1	木		1	土	春期： 実践ファシリ 8 & 9 章	1	火		1	金	
2	日		2	火		2	金		2	日		2	水		2	土	第4回 体験学習実践研究会
3	月		3	水	憲法記念日	3	土	第5回Tグループ (1) 清里	3	月		3	木		3	日	
4	火		4	木	みどりの日	4	日	第5回Tグループ (2) 清里	4	火		4	金	⑤ラーニングカフェ	4	月	
5	水		5	金	こどもの日	5	月	第5回Tグループ (3) 清里	5	水		5	土		5	火	
6	木		6	土		6	火	第5回Tグループ (4) 清里	6	木		6	日	第2回ESD講座 (1)	6	水	
7	金		7	日		7	水	第5回Tグループ (5) 清里	7	金		7	月	第2回ESD講座 (2)	7	木	
8	土		8	月		8	木	第5回Tグループ (6) 清里	8	土	春期： 実践ファシリ 10&11 章	8	火		8	金	
9	日		9	火		9	金		9	日		9	水		9	土	第4回ESD 講座
10	月		10	水		10	土	春期： 実践ファシリ 2 & 3 章	10	月		10	木		10	日	第5回Tグループフォ ローアップ
11	火		11	木		11	日	第2回 体験学習実践研究会	11	火		11	金	山の日	11	月	
12	水		12	金		12	月		12	水		12	土		12	火	
13	木		13	土		13	火		13	木		13	日		13	水	
14	金	①ラーニングカフェ	14	日		14	水		14	金		14	月		14	木	
15	土	第1回A Iリーダ シップ講座 (1) いりなか	15	月		15	木		15	土	春期： 実践ファシリ 1 & 12 章	15	火		15	金	
16	日	第1回A Iリーダ シップ講座 (2) いりなか	16	火		16	金		16	日	第3回 体験学習実践研究会	16	水		16	土	第3回プログラムデザ イナートレーニング いりなか
17	月		17	水	②ラーニングカフェ	17	土	春期： 実践ファシリ 4 & 5 章	17	月	海の日	17	木	第6回Tグループ (1) おんたけ	17	日	第3回プログラムデザ イナートレーニング いりなか
18	火		18	木		18	日		18	火		18	金	第6回Tグループ (2) おんたけ	18	月	敬老の日 第3回プログラムデザ イナートレーニング いりなか
19	水		19	金		19	月		19	水	④ラーニングカフェ	19	土	第6回Tグループ (3) おんたけ	19	火	第3回プログラムデザ イナートレーニング いりなか
20	木		20	土	第1回 体験学習実践研究会	20	火		20	木		20	日	第6回Tグループ (4) おんたけ	20	水	第3回プログラムデザ イナートレーニング いりなか
21	金	春まつり (1) 清里	21	日		21	水		21	金		21	月	第6回Tグループ (5) おんたけ	21	木	
22	土	春まつり (2) 清里	22	月		22	木		22	土	第1回ESD 講座	22	火	第6回Tグループ (6) おんたけ	22	金	
23	日	春まつり (3) 清里	23	火		23	金		23	日		23	水		23	土	秋分の日 第7回グループとわたし (1) 大阪
24	月		24	水		24	土	春期： 実践ファシリ 6 & 7 章 第5回グループと わたし (1) 札幌	24	月		24	木		24	日	第7回グループとわたし (2) 大阪
25	火		25	木		25	日	第5回グループと わたし (2) 札幌	25	火		25	金		25	月	
26	水		26	金		26	月		26	水		26	土	第3回ESD講座 おんたけ	26	火	
27	木		27	土	第4回グループと わたし (1) 名古屋	27	火		27	木		27	日	第3回ESD講座 おんたけ	27	水	⑥ラーニングカフェ
28	金		28	日	第4回グループと わたし (2) 名古屋	28	水		28	金		28	月		28	木	
29	土	昭和の日	29	月		29	木		29	土	第6回グループと わたし (1) 東京	29	火		29	金	
30	日		30	火		30	金	③ラーニングカフェ	30	日	第6回グループと わたし (2) 東京	30	水		30	土	
			31	水					31	月		31	木				

10月			11月			12月			2018年1月			2月			3月		
1	日		1	水		1	金		1	月	元日	1	木		1	木	
2	月		2	木		2	土	第3回Tグループ ファシリテーター トレーニング (1) 清里	2	火		2	金		2	金	
3	火		3	金	文化の日	3	日	第3回Tグループ ファシリテーター トレーニング (2) 清里	3	水		3	土	第8回グループとわたし (1) 福岡	3	土	第2回A1リー ダーシップ講座 (1) いりなか
4	水		4	土	秋期： 実践ファシリ 8 & 9 章	4	月	第3回Tグループ ファシリテーター トレーニング (3) 清里	4	木		4	日	第8回グループとわたし (2) 福岡	4	日	第2回A1リー ダーシップ講座 (2) いりなか
5	木		5	日		5	火	第3回Tグループ ファシリテーター トレーニング (4) 清里	5	金		5	月		5	月	
6	金		6	月		6	水	第3回Tグループ ファシリテーター トレーニング (5) 清里	6	土		6	火		6	火	
7	土	第3回グループプロ セスコンサルタント トレーニング	7	火		7	木		7	日		7	水		7	水	
8	日	第3回グループプロ セスコンサルタント トレーニング	8	水		8	金		8	月	成人の日	8	木		8	木	
9	月	体育の日 第3回グループプロ セスコンサルタント トレーニング	9	木		9	土	第6回 体験学習実践研究会	9	火		9	金		9	金	
10	火	第3回グループプロ セスコンサルタント トレーニング	10	金		10	日		10	水		10	土	第7回Tグループ (1) 清里	10	土	
11	水		11	土		11	月		11	木		11	日	建国記念の日 第7回Tグループ (2) 清里	11	日	
12	木		12	日		12	火		12	金		12	月	振替休日 第7回Tグループ (3) 清里	12	月	
13	金		13	月		13	水		13	土	第6回 ESD 講座	13	火	第7回Tグループ (4) 清里	13	火	
14	土	秋期： 実践ファシリ 2 & 3 章	14	火		14	木		14	日		14	水	第7回Tグループ (5) 清里	14	水	⑩ラーニングカフェ
15	日	第5回 体験学習実践研究会	15	水	⑨ラーニングカフェ	15	金		15	月		15	木	第7回Tグループ (6) 清里	15	木	
16	月		16	木		16	土		16	火		16	金		16	金	
17	火		17	金		17	日		17	水		17	土	第7回 体験学習実践研究会	17	土	
18	水		18	土	秋期： 実践ファシリ 1&12 章	18	月		18	木		18	日		18	日	
19	木		19	日	第6回Tグループ フォローアップ	19	火		19	金		19	月		19	月	
20	金	⑦ラーニングカフェ	20	月		20	水		20	土		20	火		20	火	
21	土	秋期： 実践ファシリ 4 & 5 章 第5回 ESD 講座 (1) いりなか	21	火		21	木		21	日		21	水		21	水	春分の日
22	日	第5回 ESD 講座 (2) いりなか	22	水		22	金	⑨ラーニングカフェ	22	月		22	木		22	木	
23	月		23	木	勤労感謝の日	23	土	天皇誕生日	23	火		23	金	⑪ラーニングカフェ	23	金	
24	火		24	金		24	日		24	水	⑩ラーニングカフェ	24	土		24	土	
25	水		25	土		25	月		25	木		25	日		25	日	
26	木		26	日	秋まつり	26	火		26	金		26	月		26	月	
27	金		27	月		27	水		27	土	第4回 AI アプ ローチ講座 (1) いりなか	27	火		27	火	
28	土	秋期： 実践ファシリ 6 & 7 章	28	火		28	木		28	日	第4回 AI アプ ローチ講座 (2) いりなか	28	水		28	水	
29	日		29	水		29	金		29	月					29	木	
30	月		30	木		30	土		30	火					30	金	
31	火					31	日		31	水					31	土	

INDEX 概要	公開講座
コア・プログラム講座	ファシリテーター養成講座 (非構成的グループ・ファシリテーション)
ファシリテーター養成講座 (実習を用いたグループ・ファシリテーション)	基礎講座
ラボラトリー体験学習	J-EEワークショップ
実践人間関係づくり ファシリテーション12講	交流から学ぶラボラトリー体験学習
春まつり・秋まつり	ラーニングカフェ 体験学習実践研究会
受託研修	年間スケジュール
受講申込	
年間スケジュール	

日本体験学習研究所(JIEL)とは

日本体験学習研究所(JIEL)では、1947年K.レヴィンたちにより人間関係の理解と改善のために開発された「ラボラトリー方式の体験学習」の基礎的な研究とさまざまなフィールド(学校教育、企業組織、看護医療、国際協力など)における応用実践研究を行っています。

ラボラトリー方式の体験学習とは、「人と人が特別に設計された関わる場において、“今ここ”での参加者の体験を素材(データ)として、人間や人間関係を参加者とファシリテーターとがともに実験的に探求する学習」です(津村、2009)。

K.レヴィンの思想を継承し、現代の社会のニーズに応えること、特に人間関係に関わる諸問題の解決とともに、人間が本来持つ可能性と潜在能力を探究し、社会の変革を目指すデザインと実践ができるファシリテーターとして私たちが活動し、研究やプログラムを提供して、さまざまなフィールドで活動する人々がそうしたファシリテーターになれるための支援をしています。

これらの活動を通して、ラボラトリー方式の体験学習の普及と共に生きる社会の創造をめざしています。

※JIELとは、Japan Institute for Experiential Learning の略称です

沿革

- 2006年 愛知県防災局の研修を受託するために任意団体として日本体験学習研究所を設立。
- 2012年 「プロセス・エデュケーションー学びを支援するファシリテーションの理論と実際」津村俊充著(金子書房)を出版。
- 2013年 「実践人間関係づくりファシリテーション」日本体験学習研究所監修(金子書房)を出版。
- 2015年 一般社団法人「日本体験学習研究所(Japan Institute for Experiential Learning: JIEL)」を設立。

NTLとは

1946年夏の米国コネティカット州で開かれたワークショップ後、1947年にメイン州ベセルにて全米教育協会(National Education Association)や大学のいくつかの研究機関の協力のもと「集団発達に関するナショナル・トレーニング・ラボラトリー(National Training Laboratories in Group Development: NTLGD)」を開催したのがNTLのはじまりです。1963年まで全米教育協会の成人教育部門の教育機能を果たし、1967年にNTL Institute for Applied Behavioral Scienceと名称を変更し非営利組織として運営されてきています。

また、ラボラトリー方式の体験学習のコアプログラムとして70年ほどの長い間、Tグループを実施してきています。そのほかに、リーダーシップ開発やジェンダーやダイバーシティにかかわるワークショップ、組織開発に関わる多数のプログラムを開催しているラボラトリー教育の歴史ある機関です。

JIELの代表理事・所長である津村は、日本人としては初めてNTLのインターナショナルメンバーとして認定されて、日本でラボラトリー方式の体験学習の普及に努めています。



一般社団法人
日本体験学習研究所

代表理事・所長：津村 俊充

〒468-0015 名古屋市天白区原1丁目2304
ライオンズマンション原102 HCC内
(地下鉄鶴舞線「原」駅1番出口)

電話&FAX (052) 804-1889

e-mail desk@jiel.jp

Website <http://www.jiel.jp>

◆地下鉄で来られる場合◆

地下鉄「原」駅の1番出口が最寄りとなります。第三銀行のあるスクランブル交差点を右折し道なりに進み、原郵便局の先を左折したところにある、レンガ色のライオンズマンションの1Fです。

2番出口から出られた場合は、サークルK沿いに進み、すぐに左折をし直進すると原郵便局のある三叉路に出ます。

